ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360
平成24年 No.250 11月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

総選挙12月4日公示、16日投票
窮地に追い込まれた民主党政権

気分一新を求める有権者

「社会保障と税の一体改革法案」賛成の見返りに、解散総選挙を求めた谷垣自民党総裁に、野田首相は近いうちに解散総選挙を実施すると約束した。野田首相はそこまではっきりと谷垣氏に言質を与えていないと言うが、正直な谷垣氏が嘘をつくはずがない。嘘をついているのは野田首相。さすがに嘘つき野田と言われるのがこたえているのか、特例公債法案の成立、衆議院定数削減の確約を条件に、16日に解散すると安倍総裁との党首討論で表明した。予想外に早い展開であった。民主党政権が誕生して3年余り、稚拙な政権運営で東日本被災地の復興は遅々として進まず、マニフェストは3割しか達成できず、外交では日米間に大きな亀裂を生じさせ、日中関係は最悪の状態である。民主党に1票を投じた人もこんな筈ではなかったと後悔している。ましてや多くの国民はこの政権が続けば日本の国が危うくなってしまうのではないかと心配している。ようやく国民に信を問う時期がやって来た。年末には政権交代の可能性が高い。

解散時期をめぐって激しくやりあう安倍総裁と野田首相

恒心

★野田首相が3回目の内閣改造を行った。人材不足の民主党。身体検査を慎重に、厳しくすれば組閣が出来ないために、多少問題ありと思われる人でも、閣僚に任命しなければならなかった。法務大臣に就任し、僅か3週間余りで辞任した田中慶秋法務大臣など典型的な例である。★この大臣、参議院決算委員会で、自民党の議員の出席要求があったにも拘わらず、当日大臣としての公務があってどうしても委員会に出席出来ないと、とうとう欠席してしまった。憲法63条には国務大臣は答弁のため出席を求められたときは、出席しなければならないと明記してある。★当日大臣は、公務があったとはいえ、国会へ出席出来ないほどの大事な公務ではないことは、決算委員会の理事たちは十分わかっており、大臣欠席の理由を苦し紛れに説明する法務省官房長が気の毒に思えて仕方がなかった。★田中大臣は22年前、県会議員時代に暴力団関係者の子供の仲人をした、つい最近まで暴力団関係者と親しく交際していた、さらに地元に居住する外国人から献金をして貰っていたことが、週刊誌で暴露された。大臣は国会に出て、その真実を語り、もし間違ったことをしていたならば、謝罪をし、訂正をすればよいと思ったが、結局1回も国会に顔を見せなかった。★田中大臣は余程精神的に参ったのか、病気と称して、病院に駆け込み、挙句の果てに辞表を提出、大臣を辞めてしまった。田中大臣、顔はいかついが意外に気が弱いところがあった。それにしても民主党内閣の閣僚はお粗末の限りである。一体何人が途中で、大臣の座を投げ捨てたのか。政治家の1人として恥ずかしい限りだ。

田中文科大臣のドタバタ劇
大学不認可から一転撤回へ

大学設置・学校法人審議会が、文科大臣に札幌保健医療大（札幌市）、秋田公立美術大（秋田市）、岡崎女子大（愛知県岡崎市）の４年制大学への設置認可を答申した。大臣は、「これ以上大学が必要なのか、大学の設置認可手続きを厳格化する。答申のあった３大学は不認可にする。」と発言した。審議会は今年の４月、平野博文前文部科学大臣から諮問を受けて、約半年間、法律に基づいて慎重に審査を進めてきた。大学側も、大学昇格に必要な設備、教授等の準備を進め、認可間違いなしという前提の下で、来春の学生募集を始める手はずを整えていたところだった。そこへ降って湧いたような田中大臣の不認可発言であった。不認可と言われた大学は法的手段に訴えると怒りを露わにしたが、当然である。現在の大学問題は、①東京に大学が集中しすぎる②大学生の就職活動が早くなりすぎ、勉強をしなくなった③地方の大学への進学者が少なくなり、５割近くの大学が定員割れで経営が厳しい④地方の大学が閉鎖に追い込まれれば地方の文化、教育に深刻な影響を及ぼすなどである。野田内閣の前文科大臣が諮問したのを同じ内閣の文科大臣がそれに反対するとは、全く理解に苦しむ。自分なりの考えが例えあったとしても、前任者に経緯を聞いて判断するのが、仕事を進める上での常識である。田中真紀子大臣は野田改造内閣の目玉閣僚と言われていた。反面個性が強く、独断と偏見で仕事をするので、大きな失敗や失言をするのではないかと心配されていたが、早々に失態を犯した。田中文科大臣はようやく自分の判断のミスに気が付き、11月７日の衆議院文部科学委員会で「３大学の新設については現行制度にのっとり適切に対応する」と答弁し、不認可を撤回した。突然の不認可から認可までの１週間、学校関係者、文部科学省の役人は我がままな暴走大臣に振り回された。

野党の追及に遭い、苦しい答弁をする田中文科大臣

波高し尖閣諸島問題

難しい平穏かつ安定的な管理

国連アジア極東経済委員会１９６９年報告書で尖閣諸島周辺に地下資源が大量に埋蔵している可能性が高いと公表されてから、中国がにわかに尖閣はわが国の領土であると主張を始めた。最近では中国漁船による海上保安庁の監視船への体当たり、そして香港の活動家による上陸など、尖閣をめぐって中国と緊張が高まってきた。今年の４月、石原都知事が東京都で尖閣を買い取る構想を発表、買い取るための寄付金を募った。「尖閣を平穏かつ安定的に管理する」状態にしておくことが、我が国の基本方針になっている。もし、東京都が所有し、そこに構造物を建設することになれば、中国との緊張感は一挙に高まるとして、９月11日国が買い取った。

果たしてアメリカ頼りでいいのか

政府が買い取って以来、中国の漁業監視船、海洋監視船が連日、わが国領海の接続水域を航行、さらに我が国の領海に頻繁に入って示威行為を繰り返している。今後何年、いや何十年こんな状態が続くかも知れない。正に中国と日本の我慢比べ、力比べである。我が国は尖閣諸島を有効に支配していると安心しているが、中国が突然武力で尖閣を占領するかも知れない。日米安保条約で尖閣諸島もアメリカ軍によるわが国の防衛範囲に入っているから大丈夫と思っていては楽観的すぎる。そんな事態になれば、先ず海上自衛隊が中国軍と戦って尖閣から中国軍を追い返す努力をしなければならない。そうでなければ、米粒ほどの島のために、どうしてアメリカ軍が動いてくれるだろうか。

尖閣は中国も認めたわが国固有の領土

１９５３年１月８日の人民日報（共産党機関紙、中国政府の公式見解を掲載）でははっきりと尖閣は日本の領土であると述べている。１９６０年発行の中国地図出版社にも尖閣は琉球群島に属すると扱われている。尖閣諸島は日清戦争（明治27年）以前に日本国に編入されており、明治以来中国政府も認めている日本固有の領土であった。しかし、国際政治はまさに力の関係によって大きく左右される。当たり前のことであるが、自らの領土は、自らが守る気概を、自衛隊、国民が示さなければならない。

二ノ湯委員、決算委員会の筆頭理事候補
１回も開会せず、解散か

10月29日、臨時国会が召集された。それに伴い各議員の所属委員会も新しくなった。二ノ湯議員は決算委員会の筆頭理事候補、消費者問題特別委員会の筆頭理事候補に選任されたが、参議院では先の臨時国会で野田首相の問責決議案を可決したために、委員会は開かれず、候補のままになっている。もし解散になれば、一度も委員会を開かず、次期国会では、違った委員会所属になる可能性が高い。

谷垣前総裁を囲む勉強会発足
二ノ湯参議院議員も参加

谷垣禎一衆議院議員は先の自民党総裁選挙への出馬を断念したが、谷垣氏を支持していた議員が中心となって、純粋な勉強会を立ち上げた。今回の総裁選挙に出馬を諦めて、谷垣氏の総理総裁の座が遠くなったとは言え、人間谷垣氏の純で高潔、しかも識見豊かな人間性には全く変わりがない。谷垣氏を慕う人間が相集って勉強会を開くことになった。11月6日に発会式があり、勉強会の名称が「有隣会」と命名された。本当に徳のある人は、孤立したり、孤独であるということはない。中国の古典・論語の「徳は孤ならず、必ず隣あり」が出典の根拠である。。衆議院議員14名、参議院議員3名の計17名でスタートした。有隣会は派閥ではなく、純粋な勉強会であり、派閥に所属している人もあり、二重在籍を認めている。二ノ湯議員も参議院平成研に所属しながら、この会にも参加することになった。今後、月1回のペースで勉強会をする。

新人4支部長支援の街頭演説会

谷垣前総裁も激励に駆けつける

谷垣、伊吹両衆議院議員と4新人候補、京都市役所前

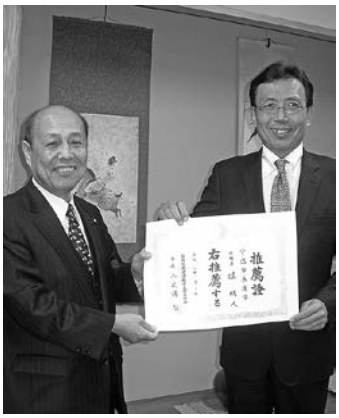
京都府には6つの小選挙区があるが、自民党は現在2、3、4、6区の小選挙区で衆議院議員が不在である。1区の伊吹文明衆議院議員も前回の選挙では小選挙区で敗れ、比例復活で議席を獲得した。京都は自民党にとって非常に厳しい選挙情勢である。自民党は今回、2区(上中康司)、3区(宮崎謙介)、4(田中英之)、6区(安藤裕)の4つの小選挙区で公募方式を採用して支部長を決定した。候補者に決定してから長い人では2年の歳月が経過、各支部長は肉体的、精神的、経済的に限界に近づいており、一日も早い解散、総選挙を待ち望んでいた。各支部長はそれぞれの選挙区で日常活動を繰り広げているが、時には4人が揃って街頭に立って、自民党の政策をアピールすることもある。今月に入り、年内総選挙の可能性が高くなり4人の新人候補者の活動も一段と熱を帯びてきた。11月12日、4人は早朝から行動を開始、近鉄大久保駅、京都タワー前、四条河原町、京都市役所前の4か所で、街頭演説をした。前夜より京都入りしていた谷垣禎一前総裁、そして伊吹文明衆議院議員も仲間に入り、最近の政局について演説し、併せて4人の新人候補への支援を訴えた。京都で勝利すれば、政権奪還間違いなしとの信念で4人の新人支部長は日夜頑張っている。

宇治市長選、自民 堀氏(前議長)を擁立
市長与党分裂、対決型選挙に

久保田宇治市長は、市議会最終日の10月16日、次期市長選には出馬をせず、引退すると表明した。市長与党の自民、公明、民主の3会派の代表は連日会合を重ね、次期市長候補者の選定作業を行っていたが、3派が一致して推す候補者がなく、時間切れとなった。自民党京都府連内には、民主党政権の支持率低下の現状から考え、しかも総選挙を間近に控え、この際、与党会派統一候補にこだわらず独自候補を擁立し、民主党と堂々と戦うべきだという声が、強くなっていた。宇治支部では市会議員が中心となって候補者選定を急いでいたが、11月5日役員会を開き、最終的に投票で決着、堀明人議長を候補者として決定した。民主党も山本正府会議員を擁立、対決型選挙の様相となってきた。また新人同志が市長の座を争う選挙は16年ぶりとなる。堀氏は49才。平成12年に市議会に初当選、現在3期目である。常任委員会、特別委員会の委員長を務め、昨年の5月に議長に就任した。高校で野球選手として活躍、甲子園に出場した。スポーツマンだけあって、明るく、開放的、しかもざっくばらんな人柄で誰からも好かれるタイプである。宇治市は伝統的に旧民社党、今は民主党が非常に強い地域である。民主党の評判が悪いといっても自民党にとってそう簡単に牙城を崩せるものではない。自民党は総選挙と連携して総力をあげて、市長選挙に臨む体制をとっている。

堀明人氏の略歴

昭和38年5月生れ。東宇治中学校、宇治高等学校、大阪産業大学卒。府連青年局次長、宇治支部幹事長を歴任。



二ノ湯自民党府連会長より
推薦状を受け取る堀明人氏

自民党の新しいポスターが完成
選挙期間中も貼ること可能

自民党は新執行部発足にともない、安倍総裁、石破幹事長のツーショットのポスターを作成した。このポスターは総選挙の公示日前日までに貼れば、選挙期間中も貼っておくことが出来る。もし貼って下さる方があれば、二ノ湯事務所までご連絡ください。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

宇治市議補欠選挙
自民、初の女性候補を擁立

堀明人前宇治市議会議長の市長選挙出馬による欠員を埋める市議会議員補欠選挙が市長選挙と同時に執行される。今回の市長選挙は自民、民主の対立型選挙であり、市長選を勝ち抜くためにも自民党として後継者を是が非でも立てる必要がある。自民党宇治支部は候補者選考を急いでいたが、松岡育子（33才）氏を擁立することになった。松岡氏は関西学院大学商学部を卒業、現在宇治市妙楽に在住。女性の視点で福祉、商店街の活性化などに取り組みたいと意欲を燃やしている。支部としては初の女性候補である。

身辺雑記

一、石原慎太郎氏が知事の座をなげうって新党設立に立ち上がった。今の政界の実情を見るに付け、止むに止まれぬ心境なのかも知れない。80才からの旗揚げに色々批判があっても、簡単に出来ることではない。

一、日本の首都東京。ここの知事に誰が座るのか、誰もが注目している。石原慎太郎という個性豊かで、知名度抜群の後だけに、後継の人はやりにくいだろう。しかし、財政豊かで、存在感のある東京の知事は魅力がある。

一、鹿児島３区の衆議院補欠選挙は、自民党公認候補が接戦を制した。私も鹿児島に入った。当初圧倒的な差で勝つのだと党首脳は意気込んでいたが、そうはならなかった。自民党に風が吹いているとは決して思えない。

一、ドラム缶にコンクリート詰めされた遺体が見つかった。被疑者として角田美代子被告が逮捕された。角田被告の周辺の人々が遺体で見つかり、今なお行方不明の人達がいる。平成の鬼女・角田美代子の目的は何か、彼女はどんな女か。

一、「近いうちにというのは、近いうちに食事でもしましょう」という軽いものではないと野田首相が答弁し、解散の意思を固めたと思ったら、足下の民主党から解散反対の大合唱。一体この党はどうなっているのかと疑いたくなる。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座　01000-4-62360
口座名：**みんなで政治を考える会**

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「日本真生塾」 第26回・第27回例会のお知らせ

平成24年11月26日(月)　18時～21時
平成24年12月17日(月)　18時～20時
12月例会後、忘年懇親会開催
（場所詳細はホームページにてお知らせ、
もしくはお電話かメールでお問い合わせください。）

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
TEL：050-7544-4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

新春招福バスツアー
第26回 伊勢神宮初詣

来年式年遷宮を迎える年を節目に
後援会の伊勢神宮初詣は最後とさせていただきます。
遷宮記念の年として、
多数ご参加頂きますよう宜しくお願い致します。

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

◇申込先　**後援会役員または**
二ノ湯さとし京都事務所まで　TEL(075)315-2228　FAX(075)315-2310

参議院議員　**二ノ湯さとし後援会**